

平成22年八重山中体連結成50周年記念

一 バレーボール専門部 一

I 特徴と課題・展望



現専門部長（6代目）

石垣第二中学校

又 吉 史 晃

i) はじめに

八重山中体連結成50周年を迎えるにあたり、バレーボール専門部並びに八重山バレーボール協会と共に、心からお祝いを申し上げます。半世紀という長い歴史の中で継続する事は、決して容易な道のりではなかったと拝します。

そんな中で、このようにめでたい年を迎える事ができたのは、一重に歴代事務局をはじめ、各歴代専門部長の方々と諸先輩方の多大なる御尽力の賜物であることに、畏敬の念を禁じえません。

例えば、平成19年には専門部長宮良先生のもと12年ぶりの八重山開催で、石垣第二中学校の吹奏楽マーチングバンド部による生演奏の式典、大浜中学校の体育館の3面コートとメイン会場（市総合体育館）の3面コートに加え、サブコート2面は練習コートとして備え、他地区の先生方は驚き、「まるで九州大会のようだ」と評したと聞きます。

先輩方が苦勞して代々引き継いだこの襷とその重みをしっかりと受け止め、後輩達にきちんと繋ぎたいと思います。繰り返しになりますが、この度は、八重山中体連結成50周年、誠におめでとうございます。八重山の子ども達が笑顔一杯、健やかに育ちますように！

ii) 特徴

本地区の特筆すべき点は、八重山バレーボール協会が中体連の活動に理解があり、常に子ども達への教育的配慮が長年に渡り、継続して行われてきたことにある。

又、「子ども達の笑顔が見たいから」と長年に渡って、大会に試合球や副賞を提供する地元のスポーツ店もあり、子ども達は恵まれた環境の中にある。

そのお陰で子ども達は県で活躍し、上位に入賞している。これも先輩方がご苦勞して作られた「道」のお陰であり、感謝の念に耐えません。今後ともご指導ご鞭撻を宜しく願います。

II バレーボール専門部これまでの歴史

i) 歴代専門部長写真 (昭和 37 年～平成 22 年)



初代 福里 喜四郎
(昭和 37 年～平成元年)



二代目 松島 秀治
(平成 2 年～ 5 年)



三代目 島仲 信秀
(平成 6 年～ 12 年)



四代目 仲地 秀将
(平成 13 年～ 15 年)



五代目 宮良 貞光
(平成 16 年～ 19 年)



六代目 又吉 史晃
(平成 20 年～ 22 年)

ii) 栄光の足跡 (県総体 4 位、九州総体 8 位以上)

九州総体 男子

年度	順位	学校名	監督名
H 1 1	6 位	大浜中学校	島仲 信秀

県総体 男子

年度	順位	学校名	監督名
S 3 6	2 位	石垣第二中	本仲 勉
H 1 1	2 位	大浜中学校	島仲 信秀
H 1 4	3 位	石垣中学校	仲地 秀将
H 1 5	3 位	石垣中学校	仲地 秀将
H 1 6	3 位	石垣中学校	島仲 信秀
H 1 7	3 位	石垣中学校	島仲 信秀
H 1 8	3 位	大浜中学校	宮良 知治
H 2 1	3 位	大浜中学校	仲盛 賢也

県総体 女子

年度	順位	学校名	監督名
S 3 7	優勝	石垣中学校	福里 喜四郎
S 3 8	2 位	石垣中学校	福里 喜四郎
S 3 9	2 位	石垣中学校	福里 喜四郎
S 4 2	優勝	伊原間中	福里 喜四郎
H 8	3 位	石垣第二中	新田 健夫
H 1 6	3 位	石垣中学校	大濱 直樹
H 1 9	3 位	石垣第二中	宮良 貞光

Ⅲ 中体連と共に



3代目専門部長
船浦中学校
教頭 島 仲 信 秀

八重山中学校体育連盟が結成50周年を迎えられたことを、心よりお祝いを申し上げます。

昭和48年石垣第二中学校のバレー部に入部、9人制から6人制への移行期で当時県専門部長の宮里孝三先生、顧問の佐久川勲先生指導の下ローテーションを懸命に学びました。

平成2年石垣中で初の部活顧問となり指導の術のない私を励ましてくれたのが新川小の宮良正先生、故入里奈留代先生や教え子たちの頑張り、父母会の温かい応援と「新生石中は部活から」の気運に乗り平成5年RBC杯準優勝、OTV杯準優勝、春の九州大会出場を果たすことができました。

平成6年、3年後の県大会地元開催に向け専門部主催の交流試合（現大浜杯）の立ち上げ、1年生大会の再開、地区新人大会女子を伊原間中、男子を久部良中で開催し競技力向上と底辺拡大を図り、バレーボール協会の協力の下、平成8年県大会を石垣市で開催、新田健夫監督率いる二中女子が第3位となり成果を上げることができました。

平成7年～12年大浜中学校勤務時代、元田功先生との出会い、東迎和芳先生の叱咤激励や父母会・PTAの力強い支援を受け、平成11年OTV杯初優勝し春の九州大会へ、県夏季総体準優勝で全国大会目指し九州大会（大分）へ出場したが全国へ後一步の悔しい6位でした。

その後、石垣中3年間では父母会の強力な支援で福岡合宿、他地区高校との連携が実現しました。現在、教え子たちが社会人となり小・中学校の外部指導者をしていることや毎年晦日に大浜中でOB会を開催し共に汗を流すことは私の大きな財産となっています。

結びに、設立時からご苦勞をなされた諸先輩方に敬意を払うと共に、その足跡の一つになれることに感謝し、結成50周年を機に八重山中学校体育連盟が子どもたちに「夢と希望と自信を」与え益々発展を遂げられますよう祈念申し上げます。



4代目専門部長
石垣市教育委員会
仲地 秀将

八重山地区中学校体育連盟が、創立50周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。大学を卒業し、東京で企業に3年程勤めておりましたが、念願叶って平成4年に石垣第二中学校へ採用となり運良く男子バレー部一の顧問を引き受けることになりました。

実際、教職に付いてみると、多忙な毎日、あの部活動への熱い思いもどこかへ消えていました。しかし、子どもたちは一生懸命で、地区優勝5～6回、県大会ベスト8へ3回入ることができました。

それから石垣中学校へ転勤することになり、父母会は私を盛大に激励してくれました。石垣中学校で再スタートをきった私は、今までの子どもたちへ申し訳ないという気持ちがいいつも脳裏を離れず、これから出会う子どもたちへの熱い情熱へと変わっていました。

妥協することなく、未熟な私は無我夢中走り続けましたが、どんなにがんばっても県大会ベスト8。いつのまにか8マンと呼ばれ、落ち込む日々が続きました。

しかし、家族だけが良き理解者で、一度も「やめて」とは告げられませんでした。休日は部活動優先で、その後我が子と触れ合い、ほんの少し家族孝行？。時が流れ、毎日毎日体育館で笑顔で待っている子どもたちと楽しくバレーボールができる自分自信が羨ましく思えてきました。そして、まだまだ未熟な私でも父母会はいいつも支えてくれました。

”目の前にいる子どもたちと真剣に向き合い、この子たちと一生懸命今を生きる”ことをいいつも心がけていました。そして、少しずつ信頼関係から確かな絆が生まれ、それが私の財産だと心の底から思いました。その後、成績も少しだけ残せたような気がします。

教え子よ、私は、君たちと汗を流した日々を忘れない、いつまでも心の支えであり、生きる喜びと元気を与えてくれる。それぞれの人生を歩み、力強く生きよ！。

結びに、八重山地区中学校体育連盟が今後ますます発展し、青少年に夢と、希望と、感動を与え続けることを祈願し、部活動への思いを終わらせていただきます。



石 垣 中 学 校
外 部 コ ー チ
指 導 歴 3 0 年
大 浜 武

八重山地区中体連が創立 50 周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。月日が経つのは早いもので、私が中体連に外部コーチとして関わるようになって 30 年の歳月が過ぎてしまいました。

事の始めは昭和 56 年の中体連の試合に、バレーボール協会より審判として派遣されたことでした。その日、たまたま私が担当した試合が石垣中学校対名蔵中学校との試合で、石垣中学校が 0 対 15 で敗れるという結果となりました。

その当時、石垣中学校の監督を務めていたのが、教師の中で私が最も尊敬していた今は亡き入里奈留代先生でした。試合後、先生は私に「石中のような大規模校がこのような負け方をして恥ずかしい、私は忙しくてなかなか指導ができないので大浜君何とかしてくれない」と言われました。

私は石垣中学校卒業生でもあるし、また石垣中学校が敗れた名蔵中学校を親友が指導していたこともあって引き受けることとしました。しかし、中学生の指導は、若かった私には簡単ではありませんでした。

まず最初に 3 年生と対立してしまいました。その理由は当時、石中バレー部では 3 年生がレギュラーと決まっていた。1 年生はボール拾い及び体力づくり、2 年生は上手くてもレギュラーにはなれなかったのです。この件を解決するのに 1 年近くかかってしまいました。

このような、今思い返すと笑えるようなことから始まりいろいろな出来事がありました。昭和 60 年県大会準決勝では 13 対 2 からエースが捻挫して九州大会目前にして大逆転負けを喫したことや、沖縄選抜に選ばれた教え子を応援に大阪にまで駆けつけたことなど、楽しかった思い出が沢山あります。

私がコーチを長年に渡り続けた背景には先輩の存在があります。昭和 37 年に石中女子バレー部が全琉制覇した時の先輩方で、48 年たった今でも当時の思い出を胸に、石中バレー部に度々ユニホーム等を寄贈し「夢をもう一度」と私たちに自分たちの夢を託してくれます。この思いにいつか応えたいと頑張ってきたのです。

私は長年に渡り石垣中学校のコーチをさせていただいたおかげで生きがいのある人生を歩むことができました。これからも私を必要としてくれる子どもたちがいる限り、自分の身体が続く限り、すべての関係者に感謝の気持ちを忘れずに子どもたちと共に夢を追い続けていきたいと思っています。

最後に、これからも八重山地区中体連が八重山地区の中学生の健全育成のために更なる発展とそれに携わる諸先生方のご活躍を祈念申し上げます。



大 浜 中 学 校
外 部 コ ー チ
指 導 歴 12 年
東 盛 秀 平

私が外部コーチをするきっかけとなったのは、今から 12 年前、当時大浜中男子バレー部顧問をしていた島仲信秀先生からの誘いでした。私自身も、中学・高校とバレーボールをしており、大浜中は母校でもあるので快く外部コーチを引き受ける事にしました。

当時、大浜中は OTV 杯で優勝、県総体では準優勝し、九州総体 6 位という素晴らしい成績を収めてました。初めての外部コーチとして島仲先生のもとで数多くの大会を経験しました。これまで学生の際は選手として参加していた大会なども指導者として違った視点から参加でき、色々と学びました。また、チーム数が少ない中、日頃の練習試合は、社会人バレーチームや高校生などに協力して頂き、感謝しております。

島仲先生の御指導を頂き、作り上げた指導基盤をもとに、後任の宮良知治先生と九州大会や夏合宿などに参加しました。

3 人目の顧問は同級生である仲盛賢也先生でした。仲盛先生とはさらに本島で西原東中、普天間中、豊見城中との合同合宿に参加し、上位チームと練習することができ、選手たちも大きく成長し、県総体ではベスト 4 に入賞することができました。現在は萩山岬先生のもとで指導させていただいております。

外部コーチは先生方と違って転勤がなく、同じ学校でコーチができる大きな魅力を感じています。これまで外部コーチとして 12 年間、まだまだ力不足ですが、バレーボールを通して技術だけでなく「心・技・体」大きく成長できるよう努力したいと思います。これからも皆様のご指導のほどよろしくお願い申し上げます。この度は、八重山中体連結成 50 周年、誠におめでとうございます。

IV 大会の思い出



沖縄選抜代表
石垣中学校
多宇 美咲

最初は、なんとなく始めたバレーボールでしたが、献身的に指導して下さる監督・コーチとチームメイトのおかげで、夢中になるのに時間はかかりませんでした。チーム内では切磋琢磨し、支えあって、気づけば日々ひたすら練習にのめりこんでいました。

努力の甲斐あって、地区大会優勝、県大会ベスト4と結果を残すこともでき、また高校も本島の伝統校に進学。夢だった春高やインターハイ等、全国大会を経験することもできました。

気づけば部活動において努力・忍耐・人と人との繋がりなど、多くの糧を得ることができました。結果がすべてではなく、何かに一生懸命打ち込むことで得るものが沢山あるということをバレーボールを通して学ぶことができました。

些細なきっかけでしたが、得た経験は私の誇りとなりました。これも一重に私たちが一生懸命スポーツに打ち込める環境を作ってくくださった中体連関係者のおかげだと深く感謝します。

創立 50 周年を迎えるにあたり、今後も関係者皆様のご活躍を祈念いたします。



沖縄選抜代表
石垣中学校
真喜屋 健也

私にとって中体連とはいい思い出も嫌な思い出もあり、忘れられない経験ばかりでした。

バレーボールをしていた私は、中学生になってもバレー部に入部すると迷いもなく、決めました。入部した当時は、先輩達が面倒見てくれて馴染みやすかったのを覚えています。

入部して初めての試合、Bチームで出場し大浜中学校に負けたけど、その時は正直、負けた悔しさより試合に出れた嬉しさの方が強かったです。

先輩方が引退し、自分達の時代になり初めての試合、二回戦で負けました。その時負けの悔しさを強く感じ、私はずっと「県制覇」がしたいと個人的な目標を立て、日々練習に取り組みました。

それからチームの目標も「県制覇」と立て、頑張りました。監督、コーチに毎日扱かれ、辛い時もありました。だけどそのせいで一人一人が成長し、チームも強くなり望んだ県大会、結果はベスト4で成長した証を島のみんなに伝えられたかなと思います。当然満足したわけではないですし、県制覇に少し近づいたのかと実感しました。

それからまた県制覇をする目標を達成するため、練習に熱心になり、自分達の成長が試される毎回の県大会が楽しみでした。でも最高準優勝で悔しさしか残らず引退しました。でも個人的には監督、コーチから教わってきた事は全て身につきました。

その結果私は、沖縄選抜にも選ばれ県の代表選手として全国都道府県対抗バレーボール大会にも出場しいい経験をしました。

自分自信の力だけじゃなく、指導者のもところまで成長したと思います。

中学生の時期が一番伸び盛りだと思うので、指導者の言う事を聞き自分の目標を立てその目標が達成出来るよう頑張ってください。



沖縄選抜代表
石垣第二中学校
与那国 真子

1998年に行われたワールドカップ大会は、小学校1年生であるわたしの知さな心を大きく感動させた。

それは、全日本女子バレーボール選手の白熱した見事なプレーであった。床ぎりぎりに落下するボールを拾い上げ、ボールとともに縦横無尽に飛び強烈なスパイクを打つ選手の姿に家族そろっての声援喝采。張り上げる声とともに私の心は、あまりの感動で身震いをした。

私は、その全日本女子バレーボール選手の感動的プレーを見て、「私もそのようになりたい」との強い思いでバレーボール選手の活動をするきっかけとなったのである。夢や希望を胸に平真バレーボール部に入部したのが小学校2年生の時であった。

あれ以来、小学校、中学校、高校とバレーボールを続けてきたが、バレーボールは私にとって最高の価値観であると思う。数多くの地区大会や県大会に照準を当てた猛練習。転んでも次々と監督からのボールが飛んでくる。容赦なくとんでくるボールに食いつくようにレシーブする。なにくそと起き上がってはまた転ぶ。しごかれるに美の練習に弱音を吐く日もあった。

しかし、辛いことだけではなかった。小学校での地区大会優勝や、沖縄県代表としてスポーツ少年団九州ブロック大会（佐賀県）に出場し優勝候補である大分県代表の半田小学校から勝利しベスト8に進出した時の感激や感動は、今でも忘れません。

中学校時代は、さらに練習量が多く、大変な日々ではあったが、小学校時代とは違い、明確な夢や目標があったおかげで、むしろ自らを奮い立たせ楽しく充実した時代だった。中学校時代に光栄に思ったことは、JOC 全国大会に沖縄代表で出場できたことである。

本大会からワールドカップで活躍している多くの全日本選手を輩出されているだけに意義深い JOC 全国大会とあって、中学校のバレーボーラーにとって憧れであり、夢でもある。その全国大会の大舞台上でプレーすることができ私にとって何より財産である。

1つの事やり続けることは、とても大切なことであると実感した。それは、JOC 全国大会の出場を始め高校1年の時に沖縄県の国体選手候補に選抜されたことであった。私は、小学校から高校までバレー尽くしであった。夜は必ず枕元にバレーボールを置いての就寝。寸暇を惜しんでの自主練に没頭。

今思えば脳裏の片隅にはいつもバレーボールの事だけを考えていたに違いない。私は、バレーボール活動を通して実に多くのものを学んだことをありがたく思う。厳しい練習で体力や精神面での鍛錬、技術面の向上が培われた。

そのなかで、目標を持ち努力を続けることの大切さや、思いやり、心遣いなど人間としての温かさなどの大切さを学ぶことができた。また、自己管理能力も育成できた。それによって部活と学習、生活の切り替えができる確立したメリハリのある生活習慣を送ることもできた。人間は優れた一面だけでは社会に通用しない。

多面体でなければならぬとよく耳にするが、私はバレーボール活動という体験や多くのバレー関係者との出会いを通して人生の糧とすべき多くの物事の側面や要素を学ぶことができた。いふならば、バレーという存在があったからこそ、今の私のすべてがあると思う。

あることわざに「無為に過ごす現在進行は、時間だけが長く感じるが、時が過ぎ去り、過去を振り返ったときには、何も残らない。一方反対に、充実した現在進行は時の流れが速くあまりにも短い、時が過ぎ去り、過去を振り返ったときには、深い思い出となり、大きな財産となる。」と言われている。

部活動を終えた私には、今まさに、その言葉の本質を薄々と感じつつある。時の経過とともにその本質を感じる度合いは深まることであろう。ぜひ、いろんな意味で後輩たちにバレーボール活動を続けてほしいとただただ思うのである。

両親を始め、多くのバレー関係者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございます。心から感謝いたしております。



沖縄選抜代表
大浜中学校
松原 亘 佑

僕は小学生の時からバレーをしています。そして、中学生になって沖縄代表として全国大会に出場しました。4か月間の厳しい練習でジャンプ力やレシーブ力などの技術がとても上達しました。

ですが、それ以上に学んだことは、毎週末の練習に参加するための飛行機代などの経済的負担をしてくれた両親、平日僕の練習参加を引き受けてくれた一般のチームの方々、僕はそんな方々に支えられていることを実感しました。

そして沖縄選抜の指導者との出会い、選抜メンバーとの絆は僕の人生における宝物になりました。この経験を通して感謝の気持ちを持ってバレーボールに臨むことができるようになりました。

今僕は高校生です。地元の高校でバレーボールというスポーツを通して僕の夢に向かって頑張っていきたいと思います。

V 中体連に参加して



石垣第二中学校
男子バレー部
島 仲 秀 介

僕達二中男子バレー部は、2年生チームで県総体に出場し、準々決勝で優勝した平良中に敗れ、ベスト8に終わりました。だけど、2回戦で当たった強豪、西原東中に勝つのは簡単ではありませんでした。地区予選が終わって翌日から休むことなく、毎日朝から夕方までの厳しい練習で、身も心もクタクタでした。

だけど、保護者の応援や周りの人々の支えがあり、絶対に勝ってやるぞと思い、さらに練習に励みむことができました。

大会当日、みんな練習以上の成果が出て、フルセットの激戦の末、西原東中に勝つことができました。勝った時は、嬉しかったです。また、応援してくれた保護者に感謝の気持ちで一杯でした。

決勝リーグに進めなくて悔しかったけど、来年こそは、優勝を目指して頑張ります。また、今までの経験を将来に活かしていきたいです。この度は、中体連結成50周年、誠におめでとうございます。

大浜中学校女子バレー部
仲 里 奏 笑

県大会に出場して1回戦で負けたけど、その分、強いチームの良いところをたくさん見れました。なかには、私たちのような身長の高いチームもあり、そういうチームはレシーブがよく、つないで攻撃をされていて私たちとは違うバレーをして見ていて圧倒されました。

このチームで優勝できなくて悔しいですけど、小学校から同じメンバーでバレーができたことは、本当によかったです。

後輩たちには、地区優勝して県では上位を狙えるチームになってほしいと思います。

この大会を通して色々学ぶことができ、いい経験になったのでこれから活かしていきたいです。

結成50周年おめでとうございます。



久部良中学校
男子バレー部
宇根 陽太郎

僕たち久部良中バレー部は、50周年記念大会という節目に当たる大会に出場し、見事優勝を勝ち取ることができました。この記念大会で優勝することができたのもいろいろな方々の支えがあったからだと思います。

この50周年の中で優勝旗が海を渡るというのは初めてということで、中体連の歴史に久部良中の名を残せることができ、本当に良かったと思います。

僕たちのチームは、これまでの大会で八重山大会ではいい結果を残すことができたが、県大会においては結果が残せず悔しい気持ちがあります。2年生が中心のチームで来年度は部員がいなくなり、中体連参加も最後になると思うけど地区で優勝し、県大会でもいい成績を収められたらいいなと部員一同思っています。

中体連50周年記念本当におめでとうございます。



白保中学校
女子バレー部
宮良 福木子

私達、白保女子バレー部は開催が地元校という事もあり、3年生の最後の大会である中体連に向け、より熱を入れ練習に励みました。試合の結果は全敗に終わりましたが、前までは大差で負けていた試合も接戦になるほど成長し、悔しい気持ちもありましたが、有意義な戦いをすることができました。

これも指導をしてくれた監督やコーチ、支えてくれたチームメンバーのお陰だと思います。後輩達には今大会で見た反省点を生かし、来年は勝って悔いの残らない大会にしてほしいと思います。

3年生は卒業しますが、今大会学んだ「諦めない気持ち」と「感謝の志」を忘れずに何事にもめげずに頑張りたいと思います。

VI 八重山の大事な宝たち

男子チーム



石垣中学校



石垣第二中学校



大浜中学校



久部良中学校

女子チーム



石垣中学校



石垣第二中学校



大浜中学校



白保中学校